

編 集 後 記

3.11の東日本大震災と東電福島原発メルトダウンで、この国は存亡の危機に陥り、半年余り経過した今日でも、復興・収束の目処は立っていない。

数千を数える人間の病も完治するものは極めて僅かである。

黒人初の大リーガー、ジャッキー・ロビンソンはI型糖尿病だった。キューバ革命の立役者フィデル・カストロは脳卒中となった。年末には第九で今なお人々に愛されている偉大なる作曲家ベートーヴェンは難聴になった。ロックシンガーのロッド・スチュアートはバセドウ氏病で甲状腺腫の摘出術を受けた。

有名でも無名でも病で苦しむ人々の苦悩は同じだ。「マグノリアの花たち」(US 1989)はIDDMの主婦をジュリア・ロバーツが、「フローレス」(US 1999)は脳卒中で車椅子生活となった刑事をデ・ニーロが、「敬愛なるベートーヴェン」(US 2006)は難聴で苦しむベートーヴェンをエド・ハリスが好演している。

ハリウッドの名優が慢性疾患や障害を持つ人々に映画を通じてエールをおくったように、「明日の臨床」は最新情報を提供し、日常臨床の質の維持向上に努めている。収束の目処が立たない放射能汚染も内部被爆がこれから脅威となる。次号では、そうしたテーマの寄稿も企画されているが、会員の諸兄姉の積極的な投稿も密かに期待している。

[編集委員 粥川 裕平]

編 集 委 員 (50音順 *印委員長)

池 山 淳 粥 川 裕 平 杉 藤 徹 志*
高 橋 英 世 松 本 美 富 士 山 本 武 司

明日の臨床

Vol. 23 No. 1

2011年 6月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

頒価 1,000円・発行部数 7,000部